



News Letter

マタニティウェアをレンタル開始！

厚生労働省 子育て世代の医療職支援事業をきっかけに2023年度に始まった「KUSNoKIプロジェクト」では、京都大学が取り組んでいる様々なキャリア形成支援、両立支援、男女共同参画をさらに推進することを目標に、徐々に活動を広げてきました。

2025年2月、今年度の重要プロジェクトの1つ、マタニティウェアレンタルプロジェクトがついに始まりました！そこで、**それぞれの製品のこだわりポイント**についてご紹介したいと思います。機会があったらぜひご利用ください！



コートタイプ・マタニティ白衣

- ◇腹囲の変化に伴ってウエストを調節することができ（～90cm）、妊娠初期から臨月まで対応可能
- ◇ダブル仕立てでお腹の膨らみが目立たない
- ◇身頃の打ち合わせが深く胸元が開きにくい（内側にも調節ボタンあり）
- ◇透け防止・帯電防止・制菌加工した素材
- ◇スリット入り・カフスつきの八分袖で折り返しやすい
- ◇大きめのポケットを採用



写真：島根大学医学部附属病院ワークライフバランス支援室
ウェブサイト「マタニティ白衣」より転載



写真：日経メディカルオンラインウェブサイト
「産学共同開発 コートタイプ・マタニティ白衣」より転載

マタニティスクラブ

- ◇妊娠初期から臨月まで対応可能
- ◇かぶりタイプ（肩口スナップあき）
- ◇お腹もお尻もすっぽり隠れる長めの丈で安心
- ◇PHSやペンなどを入れても胸元が見えない安心設計
- ◇接触冷感性、ストレッチ性があり、動きやすく、イージーケア性に優れ、吸水速乾性を持つ素材であるCOOL MAX®を使用
- ◇両脇スリット、脇下制電消臭テープつき



写真：メディカルウェア・ジャパン
ウェブサイトより転載

イラスト：ユニフォームネクスト株式会社
ウェブサイトより転載

マタニティ白衣のヒミツ

今回導入した白衣は、島根大学医学部附属病院ワークライフバランス支援室が、大東白衣（雲南市）および日昇産業（広島市）と連携し、島根大学産学連携センター支援のもと産学共同で2011年に開発し、2012年から市販されているものです（2015年特許取得）。近年作り手が減っているようで残念なのですが、開発者のみなさまのご尽力に敬意を表し、できればこちらを使い続けたいと思います。



News Letter

マタニティパンツ

- ◇お腹をやさしく包み込む安心のサポート感、なのに窮屈感ゼロ
- ◇妊娠初期から臨月まで対応可能
- ◇透け防止・帯電防止・制菌加工したストレッチ性のある生地を採用
- ◇ポリエステル100%ながら高い吸汗速乾性と防透性に優れている
- ◇シルエットもきれい



写真：メディカルウェア・ジャパン ウェブサイトより転載

マタニティウェアレンタルご利用の流れと「KUSNoKIの会」のご紹介

京都大学に所属する妊娠中の医療者なら誰でも上衣、下衣それぞれ3着までレンタルいただけます。ご希望の方はKUSNoKIウェブサイトからお申し込み後に担当窓口へお越しください。

使用後は担当窓口でのクリーニング提出・レンタルを繰り返す流れを基本とする予定です。勤務最終日までに借りたウェアをすべてクリーニングに出し、KUSNoKIに利用終了をご報告ください。

マタニティウェアレンタルは「**KUSNoKIの会**」の皆様へ実施しているサービスです。よって、未加入の方にはレンタルお申し込み時に「KUSNoKIの会」会員の登録作業も行い、KUSNoKIプロジェクトが実施するイベントや勉強会のご案内をメールで行わせていただきます。

「**KUSNoKIの会**」へは**KUSNoKIプロジェクトの活動にご賛同いただける方なら誰でも登録いただけます**。登録を希望される方はお気軽にお申し込みください。

※ 配信はいつでも解除いただけます。



マタニティウェアのロゴデザインについて



マタニティウェアの左袖のロゴは、KUSNoKIプロジェクトと医学部附属病院とのコラボレーションが大々的に打ち出せるようKUSNoKIのシンボルである葉冠に医学部附属病院のマスコットキャラクター「ももぷう」をとり入れたデザインを新たに作成しました。また、左胸、パンツの左脇にはアルファベットを組み合わせたデザインを作成しました。

コートタイプ・マタニティ白衣はプリント、マタニティスクラブ・パンツは刺繍でロゴを入れています。未永くかわいがっていただければうれしいです！



白衣用プリント



スクラブ・パンツ用刺繍

KUSNoKI 新体制のご紹介

2023年に京都大学医学系研究科を主体として始動したKUSNoKIプロジェクトは、2024年度より医学部附属病院の窓口ができ、活動をより広げられる体制になりました。

みなさまの毎日が自分らしく心地よいものになりますよう、そしてともに成長する存在になれるよう尽力したいと思っておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

KUSNoKIプロジェクト実施責任者 片岡仁美
医学研究科担当 時信亜希子
医学部附属病院担当 村田亜紀子



(左から順に
時信、片岡、村田)